

向島の催し、ニュースは、愛隣館研修センターへお知らせ下さい。



社会福祉法人イエス団  
愛隣館研修センター  
〒612 京都市伏見区向島二の丸151  
TEL 075-621-3849  
FAX 075-621-1579  
発行 平田 義  
編集 恵 大一郎

# ぼくが調べた向島の歴史

連載 第 16 回 柏木 正行



クリスマスハットを頭にご機嫌の著者

## 今! 堂々 の最終回

長年にわたる連載で皆様にご好評を頂いておりました、車イスに乗った詩人柏木正行氏の傑作長編スベクタル「ぼくが調べた向島の歴史」もいよいよ怒濤の最終回を迎えることとなりまして、この間、ご近所の方から「とつてもためになるわ。」全部の原稿コピーさせて「等いくつか問い合わせもあり、その反響の大ききま？」にびっくりしたりもしました。が、こうして最終回を迎えるにあたって、感無量です。長い間ありがとうございました。

### 《著者より一言》

長い間のご愛読、心より感謝いたします。読者の皆様、特に向島にお住まいの皆様が、私の拙文をお読みになつて、今までよりも少しでも、我がまち向島への愛着を深めてもらふことが出来たなら、こんなに嬉しいことはありません。又、重ねて歴史の中に埋没されがちな「弱い立場に立たされてる人たちの生活」に対して、目を向けて頂くことの大切さに、気付いて頂けたらそれこそ、至福の喜びと申せましょう。これも私も様々、私の視点でものを書き続けたいと思っ

※ 次ページへ ※

私が色々なことを思い巡り、車イスを走らせている間に、早くも晩秋の陽は西に傾き、建ち並ぶ酒蔵が運河に黒い影を落とし、私に帰路を急がせるのでした。そうした夕陽に押されるように、再び親月橋を渡って、向島の我が家へと急ぎます。その橋の下には、夏の間、夜毎に観光客を乗せさせた何隻かの屋形船が係留されています。それは、一見平和で閑かなたはずまいで、私自身うっかりするとそうした牧歌的光景に溶け込まれてしまいうです。しかし、向島に住む人々の日々は必ずしも平和とは言えないのです。

みんなが生き生きと暮らせる社会を……

この向島には、在日韓国・朝鮮人、「障害」者、老人などが多数生活しています。しかし、向島に住む在日韓国・朝鮮人の多くは、本名を名乗らず、通称を用いざるを得ないとのこと。一人の人間が本名を名乗ることが出来ない社会。通称しか使えない。それは、その人の全存在を真っ向から否定していることと同じではないかと、私は思うのです。

方を支え、保証するのが行政の役割ではないか、と私は思うのです。しかし、この向島には、車イス用住宅はあっても、介護は保証されていない。だから、ここで生活できる「障害」者は限られているし、しかも「障害」者同士の連帯が深いとは言いがたい状況にあつて、行政に働き掛ける力も弱くなっているのではないかと思います。

最後に……

私がワープロで書き綴ったこのレポートも、漸く終わろうとしています。私という一人の人間が、自らの非力もかえりみず、いくつもの文献を読み合せながら、古代から現代にいたる向島とその周辺の歴史をスケッチしたのです。そうした中で気付かされたのは、同じ事柄でも、資料が異なる、当然ながら、問題に対する認識や視点が違ってくるという点です。例えば、巨椋池の干拓工事の際、多くの朝鮮人が徴用されたといわれていますが、一般に出回っている文献には、そうしたことは一行も書かれていない。二十世紀に向けて秒読み段階に入つた昨今ですが、こうした事実が事実として正しく伝わらない。そうした歴史の事実を故意に隠蔽する風潮が強まっているのは、危惧の念を抱いているのか……。

終わる。

※映画上映会のご案内※



た  
な  
か  
ん  
と  
知  
的  
障  
害  
を  
も  
つ  
ひ  
と  
り  
の  
少  
女  
と  
そ  
の  
家  
族  
の  
記  
録  
で  
す。  
そ  
し  
て、  
＜  
彼  
女  
が  
家  
族  
に  
育  
ま  
れ、  
家  
族  
が  
彼  
女  
に  
育  
ま  
れ  
た  
＞  
12  
年  
間  
に  
わ  
た  
る  
日  
本  
の  
家  
族  
の  
物  
語  
で  
も  
あ  
り  
ま  
す。

この映画は重度のてんかんと知的障害をもつひとりの少女とその家族の記録です。そして、＜彼女が家族に生まれ、家族が彼女に育まれた＞12年間にわたる日本の家族の物語でもあります。

右、映画の上映会を当センターはじめ、次の各地で開催いたします。ご覧になりたい方、興味のおありの方は、当センターまでお問い合わせください。(六二一—三八四九)

※上映会日程※

一月四日(日) 愛隣館研修センター 一四：三〇〇

一月三日(出) 西陣・京都市民福祉センター 一九：〇〇〇

一月五日(例) 洛陽教会 一二：〇〇〇

一一：〇〇〇  
一八：〇〇〇

一月二〇日(出) 山科・其枝幼稚園 一四：〇〇〇  
一六：〇〇〇

※チケット料金※

前売 〇一、二〇〇円  
当日 〇一、五〇〇円  
小・中・障害のある方 八〇〇円

※チケットのお問い合わせは、当センターまで。尚、前売チケットは上映会のどの会場でもお使いになれます。

主催 「奈緒ちゃん」を

観る会・京都

# てに崎城!

行ってきましたデイサービス一泊旅行



去る十一月二十八日(火)二十九日(水)の一泊二日の日程で、兵庫県・城崎温泉に行ってきました。参加者は、利用者スタッフを含めて総勢二二名。名付けて「カニ食べ放題と天然温泉一泊の旅」です。

まずは、近鉄「向島」駅前集合。京都市洛南身体障害者福祉会館よりお借りした十人乗りのマイクローバスと所長Hのオンボロワゴンに分乗しイチロ城崎目指して出発。「なんぼ遅ても四時ごろにはつくやろ」と甘い見通しを立て

てていましてが、なんのなんの、中国自動車道の工事による中渋滞に巻き込まれ、なんと着いたら五時半。ゆったり温泉にと思っていたのが、ラッシュのような慌ただしさになってしまいました。それでも心優しい利用者は「お風呂が一番楽しかった」と言ってお下さってました。感謝!

さながら丸ノ内のオフィスのような(なんのこっちゃ)温泉タイムに別れを告げ、メインイベントの「カニ」との格闘です。カニ刺に始まって、

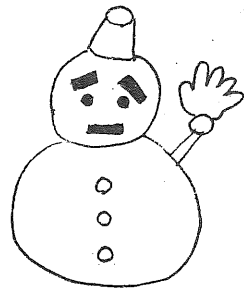


純愛!! 「死ぬまで離さないぜ!」

鍋ありの、焼きガニありのま  
さに、カニづくし。あ、そう  
そう、そういえばカニみそも  
あつたなあ。：。しばらくは  
しゃべるのも忘れて、水をう  
ったような静かき。でもそれ  
もほんの五分程。だれかが下  
らない事を言い出すと、それ  
につられて皆しゃべるしやべ  
る。今度は研修センターの工  
事現場にいる気分でした。挙  
げ句の果ては「やとわれマス  
ター」まで飛び出す始末。(こ  
れはその場にはいないと何の  
ことかわかりません。悪しか  
らずご了承ください) 予定の  
八時を大幅に上回り、宿泊先  
の城崎大会議館の従業員の方  
は半ばあきれ顔でした。  
翌日は、日和山の「城崎マ  
リンワールド」へ。沢山の珍  
らしい海の生きものを見て、  
皆大満足。極付けはメス(多  
分)のセイウチが当センター  
利用者の某氏に「一目惚れ」  
ガラス越しに熱い接吻シヨ  
ーが繰り広げられ、館内は爆笑  
の渦に。  
そして、この日の昼は名物  
「出石そば」を食べるべく、  
出石へ。ところが、車イスで  
利用できるそば屋がなかなか  
なく、とても時間がかりまし  
た。でも、苦勞して探した  
甲斐あってそのそばの味は絶  
品でした。  
そんなこんなで、帰りの方  
も時間オーバー。向島駅に到  
着したのは七時でした。でも  
とつても楽しい旅になりました。  
来年はどこへ行くこうかし  
ら?

# クリスマス献金にご協力をお願いします

日頃は、当センターの活動  
をご理解いただき、多大なる  
ご支援をくださりまして誠に  
ありがとうございます。



すでに、お知らせいたしま  
したように、この度、3階を  
増築して、新たに入浴サービ  
スを実施する運びとなりました。  
総工費は九千四百万円。  
内、国と市からの補助金が四  
千九百万円で残りの四千五百  
万円は、社会福祉・医療事業  
団からの借入と自己資金でま  
かなわなければなりません。  
これまでも、多額のご献金  
を下さつて頂いて下さる皆さまに  
重ねてお願いするのは、誠に  
恐縮ではございますが、今年  
趣旨をご理解いただき、今年  
度のクリスマス献金にご協力  
をお願いいたします。

## 《クリスマス献金・要項》

※ 目的 愛隣館研修センター増築案にともしない自己  
資金に充当するため。

※ 目標額 二〇〇〇万円

※ 金額、口数 特に、金額、口数の制限はありません。

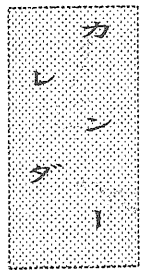
※ 送金の方法 左記郵便振替口座の方にご入金いただき  
か、ご連絡くださいれば、集金に伺います。

口座番号 011020151139321

口座名 社会福祉法人イエス団  
愛隣館研修センター

※ 当センターは、社会福祉法人の傘下施設ですので、  
ご寄付について、所得税の控除対象となります。免税  
領収証が必要な方は、どうぞ、その旨お申し付けくだ  
さい。

※ その他、詳しいことにつきましては、お気軽に当セ  
ンターの方までお問い合わせください。



◇ 年末大掃除 ◇ 十二月三  
十日(予定)、午前十時よ  
りきつちりとカタがつくまで  
恒例になりました年末の大掃  
除。お手伝いして下さる人、  
大募集です。

◇ 年末・年始休館日 ◇ 十  
二月二十八日(休)より新年一月七  
日(休)まで、八日(休)より平常ど  
おり開館いたします。

### 編集後記 #

阪神・淡路大震災に始まり  
一連のオウム事件、景気の低  
迷等、暗いニュースばかりだ  
ったなあという印象の強かつ  
た九五年。皆様其々にとつて  
はどんな年でしたか?  
研修センターにとつては、  
三階増築案も始まり、正念場  
の年となりました。九六年も  
氣を引き締めて頑張りたいと  
思います。  
どうぞ皆様、変わらませぬ  
ご愛顧のほど、宜しくお願  
い申し上げます。

皆様！よいお年を！